

## 第9回 おがるっこ

(東北大学病院 NICU で大きくなったこどもたちと親の会)



令和元年12月1日に、「第9回おがるっこ（東北大学病院NICUで大きくなったこどもたちと親の会）」が開催されました。当日は11組のNICUの卒業生とご家族にお集まりいただき、その他に東北大学学生ボランティア、NICUスタッフ（医師、看護師、保育士、臨床心理士）、仙台市の保健師が参加いたしました。



(集合写真)



新生児科医師からの開会のあいさつ後、それぞれのご家族から自己紹介をしていただきました。お子さまの生まれた週数、体重、今好きなことやハマっていることなどをお話していただきました。「家中をハイハイで駆け回るので目が離せません」「階段をおりることができないけどのぼるのが好きです」など、お子様のたくましい成長が感じられるエピソードばかりでした。また、自分で自己紹介ができるお子様は自分で自己紹介をしていただきました。成長したお子さまの様子や、笑顔でお子さまの様子を自己紹介するご家族をみることができ、とてもうれしい気持ちになりました。



次に、今回は12月ということでサンタクロースとトナカイが登場し、一緒に手遊びとふれあい遊びを行いました。手遊びでは『とんとんとんとんアンパンマン』とお歌を歌いながら楽しく手遊びをしました。また、クリスマスバージョンの替え歌でも遊びました。ふれあい遊びでは、お子さまとお母さん、お父さんでとんとんと肩たたきをしたり、もみもみと体をマッサージしたりしました。会場が和やかな雰囲気になりました。





わくわくイベントは『リースづくり』を行いました。好きなシールや飾りを選んでオリジナルのリースを作成しました。年齢の大きなお子さんは、自分で好きなものを選んで作成し、小さなお子さんは、お母さんとお父さんと一緒に作成していました。個性豊かな、とても可愛いリースができました。完成後は、リースと一緒に記念撮影を行いました。みなさんとても素敵な笑顔ですね。



わくわくイベントの後には、テーブルごとにご家族同士の情報交換を行いました。ひとつめのチームは、同じ年代のお子さまが集まりました。同じ年代のお子さまを持つご家族は、お子さまの成長を互いに喜びあったり、日頃の不安や悩みを打ち明け合ったりされていました。ふたつめのチームは、年齢の異なるお子さまが集まりました。先輩家族から、離乳食や集団保育についての話を聞いたり、悩みを共有する姿がありました。また、今回もパパのみで語り合うパパグループの場をもたせていただきました。子育てについてパパ同士で話す機会がないとの声も聞かれていたためか、とても熱く語り合う姿がみられました。



ここで、情報交換で出た意見や会に参加してみてのご感想を紹介させていただきます。

●離乳食について

『離乳食をはじめたが食が細くて体重増加もゆっくりで困っている。先生少し濃い味付けにしてみたらと言われ、それで多少食べるようになった。』

『うちは離乳食は何でもよく食べる。そこはありがたいが、便秘気味でヨーグルトとかを取り入れるようにしている。』

●集団教育について

『言葉はすごく早かったけど、社会性が身につくのが遅かった。人それぞれだから、言葉が早いからいいってことでもないと思う。個性だと思っていいと思う。』

『保育園では、本当にもっといろいろな子がいるし、先生も本当によくみている。不安だとは思うけど大丈夫。』

●その他

『生まれたときのこととか、今までのこととか、本人に話している。自分でお友達に話すこともあるみたい。』

●参加してみての感想

『たくさんの方とお話しできてとてもいい機会だった』

『いろいろなお話が聞けたり、久しぶりに同じ月齢のお友達に会えたり、スタッフのみなさんにお会いできてうれしかった』

『気切っこの参加があったらうれしい』



第9回おがるっこも、参加してくださった笑顔・元気いっぱいのお子さまたちと、あたたかいご家族のみなさまのご協力により、とても楽しく有意義な会にすることができました。また参加したいとの声をいただき、とてもうれしく思います。NICU入院当時のご家族の気持ちや退院後の生活についてうかがえることができ、わたしたちスタッフにとってはとても貴重な機会でした。そして、何よりも卒業したお子さまたちやご家族と笑顔でお会いできることは、とてもうれしいことです。寒い中、おがるっこにご参加いただき、本当にありがとうございました。来年度も7月と12月頃に開催する予定です。卒業したお子さまやそのご家族にまた笑顔でお会いできることを、スタッフ一同楽しみにしております。

令和元年12月1日

東北大学病院西6階病棟おがるっこ事務局



